

○高等学校等バス通学費助成金の変更について

【目的】

- ①高等学校等へバスを利用して通学する子の保護者の負担軽減
- ②公共交通の維持・活性化
- ③市内高等学校等通学への支援

【対象者】

次の全てを満たす者

- ・市内在住者
- ・高等学校等在籍者
- ・中学校卒業後3年以内の者
- ・市税の滞納なし

【助成内容】

市内高等学校等在籍者は5割助成、市外高等学校等在籍者は3割助成

※これまでは、一律3割助成

【予算】

21,200千円(令和5年度実績 10,784千円)

【変更による効果等】

路線バス 福江バス停～成章まで3カ月定期	約80,000円
3割助成	約56,000円
5割助成	約40,000円
豊橋鉄道 三河田原駅～豊橋駅前(桜、豊橋中央等)	約47,000円

半島で東西に長い特性により、渥美地域の子供を高校(福江高校以外)に通わせるために支払う路線バス定期費用は高額(福江から田原駅まで1年約320,000円)であり、人口減少の著しい渥美地域に住み続けていただくためにも、この通学助成金は必要な施策です。

反対に、田原地域から福江高校に通う際にも多額の交通費がかかります。

これまで、田原駅から豊橋鉄道で豊橋駅周辺の高校に通う定期代より、生徒数が年々減少している福江高校に通う定期代の方が高額でした。今回、市内の高校に通う生徒に対して5割補助とすることで、福江高校に通う定期代の方が少し安くなります。よって、田原地域在住の生徒が、生徒数の減少の著しい福江高校への選択肢も増えるのではと考えています。

福江高校だけでなく、近年では、成章高校や渥美農業高校も定員数を割り、クラス数も減少しています。これらを踏まえ、市内の高校への通学支援として、田原市内の高校への通学に際して5割補助とし、市外の高校への通学に際してはこれまで通り3割補助とするものです。

また、公共交通維持の観点からは、5割補助とすることで、これまで車で高校まで送迎している世帯が、少しでもバス通学に切り替えていただきたいと考えています。